詫間中学校学校通信　～発信！それだけじゃない詫間中～
浦島伝説
平成24年６月28日
第 15 号

「総体モード」に突入

ロンドンオリンピック開幕まであと１か月になり、オリンピックモードも徐々に高まってきています。しかし、その前に、中学生のオリンピックとも言える「総体（夏季総合体育大会）」が待ちかまえています。３年生にとっては、これまでの部活動の集大成とも言える大会で、泣いても笑ってもこれが最後になります。

そこで、７月７・８日の総体本番に向け、チームＴＡＫＵＭＡの雰囲気を盛り上げていこうと、昨日から帰りの会終了後に全校生徒への呼びかけが始まりました。初日である昨日は、謎のＤＪが下のようなメッセージを全校放送で伝えた後、『猪木ボンバイエ』の曲が流れました。

一生懸命勉強した期末テストも終わり、３年生にとっては中学校生活最後の総体まで、残り2週間をきってしまいました。今日から部活動も始まります。早く部活動を始めたい人、部の仲間と一緒に汗をかきたい人、大きな声を出したい人、ガッツポーズをしたい人など、たくさんいると思います。

３年生は後悔しないように、１・２年生はお世話になった３年生のために、「今、自分にできることは何か？」を考えて、思いっきり部活動に取り組みましょう。そして、もう一度、体育祭で見せた全校生徒みなさんの真剣な顔を、燃えるような魂を、闘う魂を見せてください。最後には、笑顔になれるように！

さあ、早く部活動に取り組みましょう。詫間ボンバイエ！！　（ｂｙ　ＤＪ．ＧＡＴＴＥＲＭＡＮ）

ちなみに、「ボンバイエ」の意味を調べると、下のように書かれていました（※Yahoo辞書から引用）。

元プロレスラーのアントニオ猪木がリングに上がる時の入場テーマ曲のタイトルで、その後、猪木が格闘技の大会を開催する際のサブタイトルとして『猪木ボンバイエ』などと使っている。アフリカの原語に由来するという説が強く、コンゴで使われているリンガラ語で「ぶっ殺せ」という意味の「ボマ・イェ（Boma ye)」から来たといわれている。もともとボクシングの世界ヘビー級チャンピオンだったモハメド・アリの入場テーマ曲『アリ・ボンバイエ』で使われていた。レスリングの世界チャンピオンだった猪木が、格闘技の世界一を決めようと世界で初めてプロレスとボクシングの異種格闘技戦をアリと行った後に友人関係となり、アリが自分のテーマ曲を快く猪木に分け与えたという話がファンの間に伝わっている。

「弱い自分」「なまけようとする自分」をやっつけてください。最後は、自分との闘いです。オリンピック代表が日の丸を背負って闘うように、みなさんも詫中代表としての誇りと自信を持って闘ってください。

テストは団体戦です

期末テストが終わりました。「カメ検」「タートルノート」などを活用して、しっかり勉強できたでしょうか。結果は、「がんばった人」「怠けた人」など、一人一人の勉強量や努力に比例してくるはずです。

しかし、その一方で、テストは「個人戦」ではなく、「団体戦」でもあるのです。確かな学力を身に付けるためには、授業が一番大切であり、それはクラスみんなで創っていくものです。静かな雰囲気の中でじっくり考えることができる学級、多くの人が意見を出し合い考えを深めていくことができる学級で授業を受けた人と、ざわざわして集中力のない学級で授業を受けた人とでは、理解の度合いに差が出てくるはずです。

さらに、それは学校の雰囲気にも関係してきます。みんなが真剣に取り組んでいる学校で学習した人と、落ち着きのない生活を送っている学校で学習した人とでは、学習に対する意欲も違ってきます。高校入試はそれらの人たちが勝負をする（試験を受ける）ことからも、「入試は団体戦である」とも言われています。

期末テストも終わり、ともすれば授業中の集中力もやや低下してくる今からの時期、あなたの学級、そして詫間中学校はどちらでしょうか。この積み重ねが次のテストの結果に影響を及ぼすのは間違いありません。

◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆　詫間ゆめ街道クリーン作戦　◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

７月１日（日）に実施される本活動に、全校で３７名の方が参加してくださることになりました。当日は申し込んでない方も参加していただいて結構です。午前７時に詫間郵便局前に集合してください。